



山あいの街・箕面を根っこからクリーンにひよう!

箕面市議会議員
中西とも子
無所属 「市民派」

元気に！とも子議会ニュース

* 第24号

発行：中西とも子と箕面から変えようネット!

〒562-0001 箕面市箕面 2-1-34 (みのおサンプラザ北向い)

TEL/FAX 072-725-8351

http://homepage3.nifty.com/nakanishi_tomoko/

e-mail:

6月議会速報!

◆「開発」(箕面森町) をさらに進める意見書が強行可決!

<自民、公明、民主・市民ク：13名が賛成、市民派ネット、共産、無所属：10名は反対>

◆「男女協働参画推進条例」、またもや議決されず!

<常任委員会で自民、公明、民主・市民クラブが再び賛成せず、2月議会につづいて条例成立を引き伸ばし。(怒)>

政争の道具に
しないで!!

■「開発を進める意見書は取り下げ
て!」と求める議員らの声を無視し、数
の力で強行可決。

6月議会の本会議初日に、自公民会派が北大阪急行の延伸と絡めて、止々呂美(箕面新町)の開発をさらに進めるよう府へ求める意見書を提案し、反対する議員の声を押し切って強行可決しました。

提案会派は議会の場で、この意見書の内容を
ただ質す質問に対し「文案は議長に一任したから議長に聞いて」などと真摯に答えようとしませんでした。また「このような意見書は取り下げしてほしい」という声が本会議上で相次いだにも関わらず、反対する議員らの声を尻目に強行可決してしまいました。

内容的にも事実関係に不備があり、議会の半数近くが反対するなかで箕面市議会の総意として意見書を府へ提出することには全く納得がいきません。箕面市議会の“民主主義”の質が問われます。

このような強引な方法で「開発を推進」させようとするやり方は、梶田市政時代に止々呂美開発(水と緑の健康都市)の見直し論が浮上した際、開発続行を太田府知事に強く迫った時と、じつによく似ています。

■「開発」は、将来のまちづくりビジョンと市の財政負担をよく検討したうえで決定すべき!

中西は、開発ありきで将来的にも多大なツケを残す北急延伸には、かねてから警鐘を鳴らし、問題がある、と主張してきました。今回は北急の延伸にも増して止々呂美の開発をさらに推進させる内容の意見書が決議されました。開発にお金をかけ、「元を取るため」と称してさらなる開発を進める、という手法が時代に合っているのでしょうか? 「箕面の水枯れ問題」では多くの市民が「開発でこれ以上緑を削らないで」という思いをもっています。市民の思いをふみにじる「開発推進」が数の力でじわじわと進められようとしていることに怒りを覚えます。もっと、全市的な議論を巻き起こすことが必要です。

生活者目線で疑問を取り上げ

1期目はこんな事に取り組みました!

議会での追及

タブーを恐れず、誰もふれなかった問題にも着手。

安心して暮らせる箕面に

弱いものいじめは許しません。

文化交流センター「談合」の疑い!?

06年度改修工事の平均落札率は97.3%! 工事の実態を調べると、書類の肝心なところは全て墨塗り! 適正な工事が行われていたか、チェックできない仕組みはおかしい。「公正・公平な」工事のあり方を提案中。

しからみがないから許してはダメ!

おれ合いを許してはダメ!

なんと半分以上が事務局員の人件費!

「箕面まつり」の補助金問題にメス。

補助金の半分以上は事務局員の人件費! 「基金」という別会計のお金の存在もつきとめました。補助金3,000万円を2,500万円に削減させ、事務局人件費問題など現在も追及中。

第三セクター「箕面都市開発(株)」の不透明性を追及。

倒産するからと4年前に箕面市は11億円を出資しました。しかし、駅前駐車場は下請けを使ってボロ儲けなのに、市への返済はわずかな金額のまま。因縁の土地は現在活用されておらず、不透明・無責任な第三セクターを現在も追及中。



高齢者や障害者の尊厳と命を守る!

「後期高齢者医療制度」、「障害者自立支援法」の廃止・見直しはもちろん、介護保険制度の使いづらさ、負担増の改善を国や市に求めてきました。



介護者家族の支援!

在宅介護の家族は身も心も「しんどい」のです。介護者をしっかり支えるシステムを地域で作ろうと提案、現在進行中です。



繰越金やプール金(基金)も発覚。それでも補助金は満額支給。



母子家庭をとりまく現状と課題について

シングルマザーは低賃金と仕事のかけもちで、暮らしは大変です。粘り強い訴えがようやく実り、市も前向きな取り組みの検討を約束。

子どもを守るのは、おとなの責任。

通学路の安全や子どもの虐待防止のほか、シックススクール対策、不登校支援などにとりくみました。自然環境や安全な食べもの、「平和」を守るのも大人の責任と考えます。

認知症・心のケア対策!

「転ばぬ先の杖」がとても大事。地域・医療・福祉機関のネットワークをもっと強力なものに。介護予防策や相談員の充実など、周囲の理解と本人家族を孤立させないために提案。

黙っていても何も変わりません。中西とも子と一緒に思いをカタ干にしましょう!